

## 7月の日経平均株価

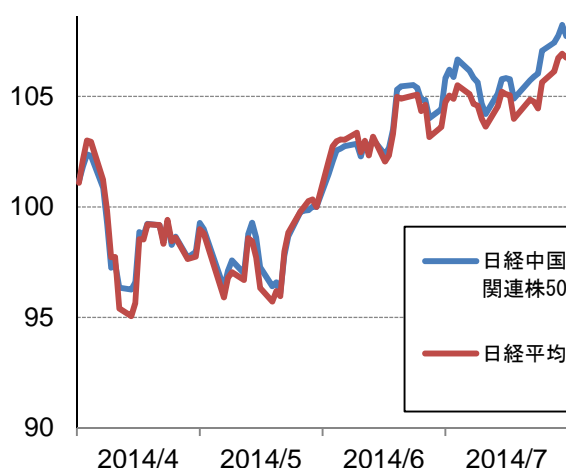
7月の日経平均株価は月末終値が6月末に比べ458円67銭(3.02%)高の1万5620円77銭となった。直近3カ月間で1300円余上昇し、月末終値としては昨年12月(1万6291円)以来の水準を回復した。中旬までは一進一退が続いたが、上場企業の4~6月期決算の発表が本格化した下旬になると業績拡大期待から水準を切り上げた。ただ、商いは低調で、東証1部の売買代金(1日平均)は1年7カ月ぶりの低水準にとどまった。

## 今月のトピック: 日経中国関連株 50 に選別物色の恩恵

「日経中国関連株 50」が堅調に推移している。6月は4.42%、7月は3.16%上昇し、ともに日経平均の上昇率を上回った。両指数とも今年の高値を付けたのは1月8日だが、年初来高値からの下方乖離率も日経中国関連株 50 は 1.81%と、日経平均(3.11%)より小さい。先月24日に発表された7月のHSBC中国製造業購買担当者景気指数(PMI)速報値が2カ月連続で景況判断の分かれ目となる50を上回るなど、「中国経済に底入れの兆しが見られることが手掛かり」との解説が株式市場では多い。ただ、お膝元の中国・上海総合指数が動意付いたのは7月下旬以降なことからも分かるように、日経中国関連株 50 の堅調な値動きには他にも理由がありそうだ。

図1: 堅調な日経中国関連株 50

(2014年5月末=100として指数化)



日経中国関連株 50 は日本経済新聞社が2010年12月から算出・公表を始めた株価指数。

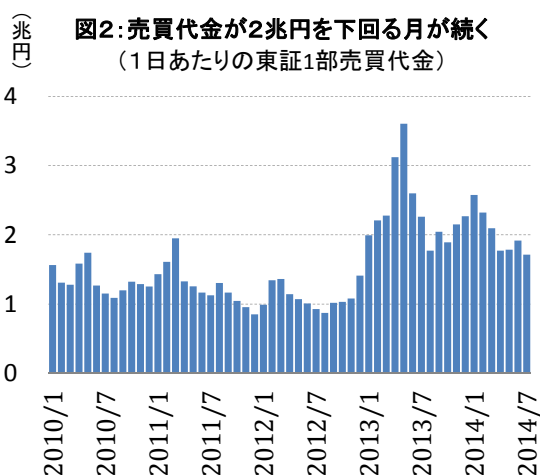
中国事業を積極的に展開する国内の50銘柄で構成されている。日経平均など他の主要な株価指数に比べ大手製造業の比率が高い。大型株が多いのも特徴で、50銘柄中42銘柄が時価総額の大きい銘柄で構成する「TOPIX100」採用銘柄だ。ROE(自己資本利益率)などを勘案して構成銘柄を決めるため優良株が多いとされるJPX日経インデックス400採用銘柄も44銘柄含まれている。

こうした銘柄構成について、ある市場関係者は「公的年金の好みと合致する」と指摘する。公的年金を運用する年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)は今年度から、国内株式のパッシブ運用のベンチマーク(運用指標)にJPX日経400など3つの指数を新たに採用したほか、運用委託先も見直して外資系運用会社を多く採用した。これで、前出の市場関係者は「以前より、グローバル展開する優良銘柄に公的年金の資金が入りやすくなった」と解説する。

売買が細っていることが、日経中国関連株 50 への追い風になっているとの指摘もある。東証1部の1日あたり売買代金は、4月以降4カ月連続で活況の目安とされる2兆円を下回った。市場では、個人投資家やヘッジファンドなどが中心の短期筋の売買が減ったことが背景とみられている。薄商いでは株価指数先物に現物株市場が振り回されることも多くなるが、足元では先物の売買も同時に減少しており、先物主導の相場展開にもなりにくくなっている。相対的に、好業績銘柄への選別物色の影響度が高まっているという見立てだ。実際、日経中国関連株 50 採用の直近1カ月の上昇率をみると、上位には直近に業績予想を上方修正した日本精工や神戸製鋼所といった銘柄が並ぶ。

日経中国関連株 50 の月間上昇率が日経平均を上回ったのは、過去にも例がある。直近では2012年10月～13年1月にかけての4カ月間が該当する。この時の主因は円相場だった。

野田佳彦前首相が衆院解散を表明したのをきっかけに円高修正が進展。輸出関連の大型株が買われ、円相場への感応度が高い銘柄が多い日経中国関連株 50 の上昇にも弾みがついた。長く膠着状態が続いた円相場は、壁になっていた水準を足元で円安方向に抜け、一時1ドル＝103円台を付けた。円安・ドル高の方向感が明確になれば、日経中国関連株 50 の上昇に弾みが付く可能性もありそうだ。



#### 日経指数月次サマリー(2014年7月)

○日経平均およびその派生指数 (データは7月末時点)

指数名	指数値	月間騰落率	平均リターン	標準偏差	年初来高値	同日付	年初来安値	同日付
日経平均株価	15620.77	3.03%	0.06%	1.31%	16121.45	1月8日	13910.16	4月14日
日経平均トータルリターン	22812.87	3.03%	0.07%	1.32%	23327.25	1月8日	20271.52	2月4日
日経平均ボラティリティ	16.02	-7.61%	-0.15%	4.19%	33.21	2月4日	14.00	7月17日
日経平均VIX先物	49563.82	-8.53%	-0.28%	2.17%	97741.36	2月4日	45198.43	7月17日
日経平均カバードコール	14106.24	3.15%	0.08%	1.14%	14124.74	7月30日	12348.19	2月4日
日経平均リスクコントロール	16089.74	2.40%	0.04%	0.69%	16161.58	1月8日	14898.08	4月14日
日経平均レバレッジ	10373.28	6.07%	0.13%	2.62%	11295.91	1月8日	8275.01	4月14日
日経平均インバース	3224.32	-3.01%	-0.06%	1.31%	3651.06	2月4日	3193.30	1月8日
日経平均ダブルインバース	4967.06	-5.99%	-0.13%	2.62%	6467.31	2月4日	4950.95	7月30日

指数名	指数値	昨年比	最高値	同対象年	最安値	同対象年
日経配当指数	128.96	16.74%	128.96	2014	47.39	2002

○ベンチマーク、その他指数

指数名	指数値	月間騰落率	平均リターン	標準偏差	年初来高値	同日付	年初来安値	同日付
JPX日経インデックス400	11734.57	2.34%	0.06%	1.15%	11800.26	1月8日	10314.83	4月14日
日経株価指数300	261.00	2.18%	0.06%	1.16%	265.90	1月8日	229.49	4月14日
日経中国関連株50	1374.56	3.17%	0.06%	1.16%	1399.88	1月8日	1220.64	2月4日
日経500種平均株価	1359.88	2.44%	0.07%	1.14%	1360.82	7月30日	1191.33	2月4日
日経JAPAN1000	1520.71	2.14%	0.06%	1.16%	1541.51	1月8日	1335.72	4月14日
日経ジャスダック平均株価	2217.32	2.87%	0.08%	0.81%	2229.04	7月29日	1890.85	5月19日

注: 平均リターン、標準偏差は過去1年の日次騰落率から算出

日経配当指数の昨年比は昨年7月末時点との比較、最高値、最安値は1998年以降の同時点の比較

【ディスクレーマー】本資料は信頼できるとされる各種情報、データに基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性などに対して日本経済新聞社(日経)は責任を負いません。また本資料に記載された情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害について、日経は一切その責任を負いません。本資料は、常に最新の情報に更新されていることを保証せず、また予告なく変更することがあります。本資料の一切の権利は日経に属しており、本資料を無断で転載したり第三者にコピー等を流布することを禁じます。